

各職場で続々スト態勢確立

日刊
動労千葉

1988. 5. 17

No. 2816

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二五三五六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

五月七日 内房協議会開催

木更津市内で、交流もかねて結成総会、赤羽根議長を先頭に三役を選出するとともに、十八〜二十ストを全力でたたかうことを確認。

同日 南総協議会（準備会）

勝浦において、水野副委員長を囲み、第一四回臨時大会報告と、スト方針を討論、南総協議会の早期結成を確認した。

五月十日 津田沼支部執行委員会

支部執行体制を破壊するためにしかけられた強制配転を打ち破り、支部執行体制の強化と配転者の激励、一八〜二〇ストを全力で取り組むことを確認。

五月十一日 銚子支部職場集會・激励会

銚子において支部職場集會を開催、布施書記長のストライキ方針の提起を受け、営業に配転された仲間が先頭に立つことを確認。職場集會前段にはボウリング大会、職集終了後は強制配転者の激励会と一日フルに使った行動を若い執行部を先頭に貫徹。

五月十六日

申23日最終団交
乗入切表

五月十二日 千葉転支部「五七」予科生激励会

「動労千葉を脱退しない限り運転士見習はさせない」と不当な差別を受け、最後の最後まで見習を引き伸ばされた四名の若い組合員が千葉転で見習を行うことになった。当局は、動労千葉組合員の教導運転士を見習につけさせないなど不当な攻撃を続けているが、運転士見習組合員を全体で守ることを確認した。

五月十三日 館山支部委員会

組合員を結集し、委員会を開催。十八〜二〇ストを先頭で取り組むことを確認。

五月十四日 第三回営業協議会代表者会議

民間組合になってはえある第一波ストをたたかえることに感謝する。このストをとおし、動労千葉の団結を固めていきたい。マスコミを通じたJR大宣伝のなかで、その内実は不当労働行為が行っている現実をアピールしたい。

五月十四〜十六日 勝浦支部職場集會

三日間をかけて本務に残った組合員を中心に集會をかちとる。十八〜二〇ストを確認。

五月十五日 木更津支部委員会

強制配転された執行部も元気に参加。職場要求を中心に討論、ストに向けて全力で決起することを確認。

5.18〜20ストを決行するぞ

18日 千葉駅

17:30

20日

亀戸駅

12:30